

手順名 HA構成(DBMS)			必要なパッケージは以下になります。 MariaDB、MariaDB-server、expect										
※ 設定・備考にあるバージョン(x.x.x)は、インストールするITAバージョンに読み替えてください。 また、(ITAインストール先ディレクトリ名)、(backyardサーバのホスト名)、(AnsibleサーバのIPアドレス)などの文字はインストールする環境に合わせて適宜読み替えてください。													
No.	目的	目的						設定	備考				
		共通	構築資材管理	メニュー作成	ホストグループ	Ansible	Cobbler			Terraform			
ITAインストール資材展開													
1	ITAのインストール資材を展開する	●						インストール資材展開先にITA資材v $x.x.x$.tar.gzを配置してください。 cd / (インストール資材展開先) ls -l v $x.x.x$.tar.gz	インストール資材の展開先は、どのディレクトリでも問題ありません。 オンラインの場合は以下のコマンドで取得してください。 wget https://github.com/exastro-suite/it-automation/archive/v $x.x.x$.tar.gz				
2								ITAインストール資材を展開してください。 tar -zxf v $x.x.x$.tar.gz					
3								ITAインストールディレクトリを設定します。 find it-automation- $x.x.x$ -type f xargs -I{} sed -i -e "s:%%ITA_DIRECTORY%%%:/ (ITAインストール先ディレクトリ):g" {}					
yum-utilsインストール													
4	【CentOS7、RHEL7の場合】 yum-utilsをインストールする	●						以下のパッケージをインストールしてください。 yum-utils	オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 yum install -y yum-utils				
共有ディレクトリ(DBファイル保存先)設定													
5	MariaDBのDBファイル保存先ディレクトリを作成する ※DBファイルを外部ストレージへ移動する場合に実行してください。	●						mkdir -p / (DBファイル保存先ディレクトリ)	例： mkdir -p /data/mysql				
6	共有ディレクトリを設定する ※DBファイルを外部ストレージへ移動する場合に実行してください。	●						以下の様に外部ストレージの共有ディレクトリとの共有設定を行ってください。 <table><tr><th>DBMSサーバの共有ディレクトリ</th><th>外部ストレージの共有ディレクトリ</th></tr><tr><td>/ (DBファイル保存先ディレクトリ)</td><td>/ (DBファイル保存先ディレクトリ)</td></tr></table>	DBMSサーバの共有ディレクトリ	外部ストレージの共有ディレクトリ	/ (DBファイル保存先ディレクトリ)	/ (DBファイル保存先ディレクトリ)	
DBMSサーバの共有ディレクトリ	外部ストレージの共有ディレクトリ												
/ (DBファイル保存先ディレクトリ)	/ (DBファイル保存先ディレクトリ)												
MariaDBインストール													
7	MariaDBをインストールする	●						以下のパッケージをインストールしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 MariaDB MariaDB-server expect 【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 mariadb mariadb-server expect	オンラインの場合は以下のコマンドでリポジトリを有効にしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 curl -sS https://downloads.mariadb.com/MariaDB/mariadb_repo_setup bash 【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 リポジトリは追加しません オンラインの場合は以下のコマンドでインストールしてください。 【CentOS7、RHEL7の場合】 yum install -y MariaDB MariaDB-server expect 【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 yum install -y mariadb mariadb-server expect				
8	MariaDBのDBファイルを外部ストレージに移動する。 ※DBファイルを外部ストレージへ移動する場合に実行してください。	●						cp -pr /var/lib/mysql/* / (DBファイル保存先ディレクトリ)	例： cp -pr /var/lib/mysql/* /data/mysql				
9		●						rm -rf /var/lib/mysql					
10		●						ln -s / (DBファイル保存先ディレクトリ) /var/lib/mysql	例： ln -s /data/mysql /var/lib/mysql				
11	MariaDBの自動起動設定と起動を行う	●						systemctl enable mariadb systemctl start mariadb					
12	MariaDBのrootパスワードを設定する	●						mysql_secure_installation 後は対話形式で設定します。	※パスワードに使用できる文字は半角英数字と半角記号です。				
13	MariaDBの設定ファイルを配置する	●						【CentOS7、RHEL7の場合】 cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation- $x.x.x$ /ita_install_package/ext_files_for_CentOS7.x/etc_my.cnf.d/server.cnf /etc/my.cnf.d/server.cnf 【CentOS8、CentOS Stream8、RHEL8の場合】 cp -p / (インストール資材展開先)/it-automation- $x.x.x$ /ita_install_package/ext_files_for_CentOS8.x/etc_my.cnf.d/server.cnf /etc/my.cnf.d/server.cnf					
14	MariaDBを再起動する	●						systemctl restart mariadb					

No.	目的	目的							設定	備考	
		共通	構築資材管理	メニュー作成	ホストグループ	Ansible	Cobbler	Terraform			
ITA用DB作成											
15	MariaDBに接続する	●							mysql -uroot -p(MariaDBのrootパスワード)		
16	MariaDBのユーザを作成する	●							CREATE USER '(ユーザ名)' IDENTIFIED BY '(パスワード)'; CREATE USER '(ユーザ名)'@'localhost' IDENTIFIED BY '(パスワード)';	※パスワードに使用できる文字は半角英数字と半角記号です。	
17	ITA用DBを作成する	●							CREATE DATABASE (ITAのDB名) CHARACTER SET utf8;		
18	ユーザの権限を設定する	●							GRANT ALL ON (ITAのDB名).* TO '(ユーザ名)'@'%' WITH GRANT OPTION; GRANT ALL ON (ITAのDB名).* TO '(ユーザ名)'@'localhost' WITH GRANT OPTION;		
19	MariaDBを抜ける	●							exit		
20	ita_baseのテーブルを作成する	●							mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-a.sql		
21	materialのテーブルを作成する		●						mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-l.sql		
22	material(資材紐付け管理(Ansible))のテーブルを作成する ※materialとansible_driverをインストールする場合に実行してください。		●			●			mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-l2.sql		
23	material(資材紐付け管理(Terraform))のテーブルを作成する ※materialとterraform_driverをインストールの場合に実行してください。		●					●	mysql -u(ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-l4.sql		
24	createparamのテーブルを作成する			●					mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-m.sql		
25	hostgroupのテーブルを作成する				●				mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-n.sql		
26	hostgroup(ホストグループ変数化)のテーブルを作成する ※hostgroupとAnsible_driverをインストールの場合に実行してください。				●	●			mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-n2.sql mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-n3.sql		
27	ansible_driverのテーブルを作成する					●			mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-c.sql		
28	ansible_driver(収集機能)のテーブルを作成する ※createparamとAnsible_driverをインストールの場合に実行してください。			●		●			mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-m2.sql		
29	cobbler_driverのテーブルを作成する						●		mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-d.sql		
30	terraform_driverのテーブルを作成する							●	mysql -u (ユーザ名) -p(パスワード) (ITAのDB名) < /tmp/it-automation-x.x.x/ita_install_package/ITA/ita-sqlscripts/ja_JP_mysql_ita_model-o.sql		